

投稿案内

ACST
Applied Cosmetic Science and Technology
The Society of Cosmetic Chemists of JAPAN

ACST編集部

ACST創刊の主旨

第一に、皮膚科学、界面科学、材料科学、化学工学、心理学など、多くの科学技術が統合して生み出される化粧品領域の研究成果を記録としてまとめ、次なる化粧品技術へと導く内容を掲載して、化粧品産業の発展に寄与することを目的としています。掲載されるすべての論文は、SCCJが選定した査読者によって厳格に査読が行われ、化粧品領域で重要かつ価値ある研究成果のみが質の高い論文の形で日本から世界へとグローバルに発信されます。

第二に、将来的にはインパクトファクターを取得することを目標としながらも、未来の化粧技術を担う若手技術者にとっては英文投稿の登竜門ともなる英文ジャーナルでありたいと考えています。

<徳留チーフエディターからのメッセージ>

学会誌はその学会のレベルを表しているといいます。皆様の知見と熱い想いが、日本化粧品技術者会やACSTが世界中で高く評価される源と考えます。

最新のIFSCCランキングでは日本が1位であり、日本の化粧品研究・技術は世界一であることが示されています。この世界一の日本の化粧品技術を学術的にも世界に発信し、将来的にはACSTを化粧品分野のトップジャーナルとしたいと考えております。そのためにはSCCJ会員の皆様からの投稿が必要です。ご協力をお願い申し上げます。

contents

A.投稿に関して

- A-1 掲載の基準
- A-2 論文掲載は誰が決めるのか？
- A-3 論文の投稿とアブストラクト
- A-4 実際の投稿作業

B.投稿後のながれ

- B-1 投稿された論文はどのような？
- B-2 レフェリー・レポート
- B-3 判断は迅速に
- B-4 判定通知
- B-5 論文のフォーマットと長さ
- B-6 受理された論文の原稿整理

C.受理から掲載まで

- C-1 最終原稿作成時の留意点
- C-2 原稿整理とページレイアウト
- C-3 掲載のスケジュール

D.掲載費用とその請求

A.投稿に関して

ここではまず、ACSTに論文が査読を通じて掲載されるまでの編集・査読プロセスを概説します。投稿規定については、別途投稿規定をご確認ください。

A-1 掲載の基準

ACSTが掲載する論文の種類や基準の概略は以下のとおりです。

| 種類 | Originals | Short Communications | Materials | Reviews |
|------------|---|---|---|---|
| 論文の種類ごとの基準 | ① 新規性, 独創性, 有用性のいずれかが認められるもの, あるいは今後の展開を示唆するもの ② 論文として論旨の整合性が取れていること ③ 論文としての信頼性と完成度のあるもの | ① 現状では原著論文として不十分であるが、新規性・独創性・有用性がある、あるいは今後の研究や他の研究の展開に示唆的な内容があるもの ② 論旨の整合性が取れていること ③ 短報としての文書の信頼性と完成度がある。 | ① 原著, 短報の基準は満たさないが新しい事実, 価値あるデータや重要なデータが含まれているもの ② 実験の結果報告の意味合いが強いもの | 学術的, あるいは技術的知識の発展を体系化したものであり、読者にとって教育的価値があるもの |
| 論文構成 | 1. 緒言 2. 実験 3. 結果 4. 考察 5. 結論 6. 引用文献 | 同左 | 同左 | — |
| ポリシー (目安) | 英文要旨: 300語以下 ACST誌投稿テンプレートを利用できる。 | 英文要旨: 300語以下 全論文の原稿テキストは2000~3000語以内とする。 ACST誌投稿テンプレートを利用できる。 | 短報に準ずる。 ACST誌投稿テンプレートを利用できる。 | ACST誌投稿テンプレートを利用できる。 |
| 審査有無 | 有り | 有り | 有り | 有り |
| 審査ポイント | 上記欄の形式を満たしていること。 査読は、次項のガイドラインに定められた基準で行われる。 査読者は、査読後の結果をチェックシートに記録し、査読論文に具体的なコメントを記載する。 | 原著に準じる | 原著に準じる | 記欄の形式を満たしていること。 |

<基準>

○新規性，独創性，有用性，発展性

- ・論文に記載された知見は未発表のものである。
- ・論文に記載された知見が新規なものである。
- ・論文に記載された知見が技術，学術的に価値のある有用な情報を提供できるものである。
- ・短報の場合は、論文に記載された知見が現時点では原著論文としては不十分であるが、今後の発展性が期待されるものである。

○論旨の整合性

- ・研究の目的が明確であり，先行論文を引用し背景や考察を十分に検討していること。
- ・論拠，論旨，研究手法，資料などが妥当であり，結果と結論に飛躍がないこと。
- ・目的で挙げられた解決すべき問題点が結果，結論で明確に記載されていること。

○論文の信頼性

- ・実験手法，実験材料が明確に記載されており，記述に従い成果を再現できること。
- ・データの解釈が適切であり論理的であること。

○論文の完成度

- ・検証可能または妥当な結果で構成され，論文として完成していること。

A-2 論文掲載は誰が決めるのか？

ACSTは、特定の企業との密接な関係はありません。従って、本誌に関わる判断は独立しており、特定の個人の科学的偏見または国や地域に対する偏見に縛られることはありません。どの論文が幅広い読者の興味を引くかということについての判断は、レビュアーではなく、ACSTのチーフエディターを中心とした編集ボードメンバーが行います。

A-3 論文の投稿とアブストラクト

掲載までの行程を円滑に進めるために、投稿や修正稿の提出等の各段階において、ACSTの投稿要件を確実に満たすように留意してください。論文の完成度はもちろんのこと、長さやフォーマットが適切かどうかを必ず確認してください。（ACST投稿規定及び投稿の手引きを参照）

アブストラクトでは、200から300ワードで、本誌の読者（主に化粧品関連領域の科学者あるいは技術者、専門家）にとっての当該研究の重要性を要約し、論文の結論を一般の読者にも理解できるように説明してください。

A-4 実際の投稿作業

ACSTにOriginalsやShort Communications、Reviews、Materialsを投稿する際には、原稿をACST編集部（sccj-edit@bunken.co.jp）へメールでお送りください。

B.投稿後のながれ

論文が投稿されると、ACST編集部ではその論文が掲載にふさわしい論文であるかを精査します。ここではそのプロセスについて説明します。

B-1 投稿された論文はどのような？

ACSTに新しく投稿された論文はまず、編集事務局によって投稿規定に沿っているかどうかを確認します。その後、原稿はチーフエディターからセクションエディターに渡され、ACSTにふさわしい論文であるかどうかという最初の判定を下します。これを受けて論文を査読に回すと判断されると、担当セクションエディターがレビュアー（査読者）を選び、abstractが送られて査読の打診が行われます。査読はこの打診により受諾された場合に正式に依頼されます。査読は通常2名のレビュアーによって行われます。なお、レビュアーは以下のような基準により選定されます。

- ・ 該当論文の著者やその所属機関に関わりがない。
- ・ 論文の技術的側面を十分かつ公正に評価する能力がある。
- ・ 関連する投稿論文の評価を行った経験がある。
- ・ 要請された期日以内に評価することが可能と推測される。

B-2 レビュアーコメント（審査意見）

レビュアーコメントには、論文に示された成果が新規性、独創性、有用性を持つものであるかを精査し、著者の主張している内容が信頼性があるかを判断して、技術的欠点が認められれば、その欠点を指摘し修正を依頼する内容が示されます。

B-3 判断は迅速に

ACST編集部は、投稿論文に対する判断を迅速に下すことを目指しています。論文が投稿規定に合わない場合や審査の対象とならないときは、原稿を受領してか早い段階で著者にお知らせします。またレビュアーは、2週間程度を原則にレビュアーコメントを編集部に返信し、このコメントを受けてチーフエディターを中心とした編集ボードメンバーがその審査段階における最終判断をします。判断の結果については、編集事務局より迅速に著者に連絡を実施します。

B-4 判定通知

ACSTに掲載されるOriginalsやShort Communications、Reviews、Materialsは全て、少なくとも1回、通常は2、3回の査読に回されます（それ以上の場合もあります）。各段階で編集ボードメンバーは、論文についてレビュアーコメントに照らして他のメンバーと意見を交わし、編集事務局を通じて著者に以下のいずれかの通知を送ります。

受理（掲載可能）：論文は受理され、修正を加えることなく掲載されます。

指摘箇所修正後、掲載可能：著者がレビュアーコメントを取り入れて修正すれば、原則として論文は受理、掲載されます。

指摘箇所訂正後再審査：著者がレビュアーコメントを取り入れて修正し、修正稿と回答書を提出して再審査をします。

原稿区分の変更：投稿された論文が掲載の基準を満たさない場合に区分の変更を通知します。ほとんどの場合、区分変更と共に修正稿提出を求められます。例えば、Originalsまでの完成度ではないが速報性などを重視してShort Communicationsへの区分変更などがあります。

不受理（掲載不適）：論文は受理されず、再投稿しても査読の対象になりません。

なお、レビュアーコメントへの回答書は、明瞭で正確丁寧な記述を心掛けてください。編集者やレビュアーが不明瞭に思う点があれば、それは一般読者にとっても不明瞭であるということを忘れないでください。

B-5 論文のフォーマットと長さ

ACSTでは読者が読みやすい編集を心がけているため、原稿を取り扱っている編集者のアドバイスや原稿の準備と投稿規定に詳しく述べられているとおりに、フォーマットの要件には厳密に従ってください。

（投稿規定及びガイドラインを参照）

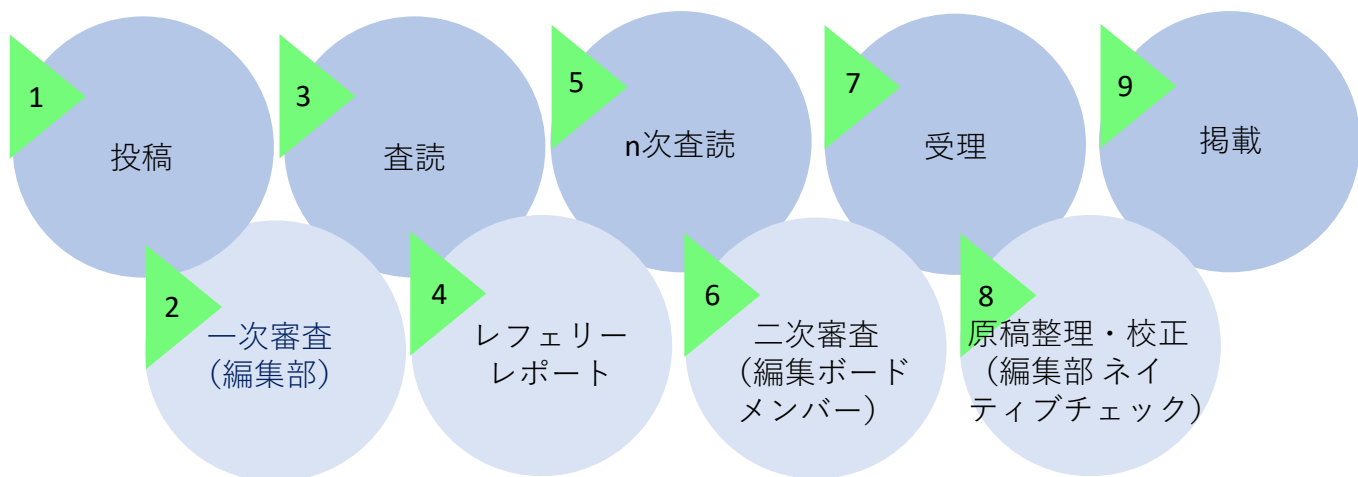
B-6 受理された論文の原稿編集

論文が受理された後、できるだけ明確で理解しやすいようにするために原稿編集（コピーエディティング）を行います。このプロセスによって、論文の価値がさまざまな意味で高められます。OriginalsやShort Communications、Materialsのフォーマットについては、論文の受理後に、ACSTの編集部から著者に積極的に助言します。編集部は、次のような点について著者とやりとりをしていきます。

- ・ 異なった専門分野の読者にも理解できるように、最も明快かつ正確な言葉遣いになるように編集する。
- ・ 論文が編集部の指定した長さにおさまるようにする。（図版類も含む）
- ・ 専門用語や表記がACSTの組版スタイルに合うようにする。
- ・ 図版類や表が鮮明で、利用可能なスペースに合うようにする。

C. 受理から掲載まで

論文が受理されると、ACST編集部で掲載に向けて論文を加工していきます。



C-1 投稿原稿作成時の留意点

論文原稿の処理を遅らせる要因として、次のような点が挙げられます。投稿原稿を作成する際にこれらの点に留意していただければ、時間の節約になり、ミスを防ぐことができます。

規格外の素材の入った原稿

例えば、画質の粗い画像や不鮮明な表やグラフは読者も含め読みにくいものになります、提示された掲載日前にあらかじめ準備するようにしてください。著者から（論文が受理された時点で）著者側のレイアウト担当者がいる場合はその連絡先（または他の適当な連絡先）をACST編集部提供していただくと、制作や体裁を整える作業を共同で行うことができます。

C-2 原稿編集とページレイアウト

ACST編集部はまず、原稿が適切なものであるかどうかを確認します。そして、図版類、関連書式などの記載を点検します。次に、本文をACSTの組版スタイルに合わせて編集し、文法が正確で、論理が理解しやすく明快であり、さらに頭字語や略語が最小限になるように整えます。また、必要に応じて文章を短くすることもあります。例えば、構成が複雑な文章を簡潔にする、形容詞が多すぎる構文を解体する、などです。参考文献リストは、スタイルを整え、掲載順序をチェックします。図版類の説明文が短いタイトルで始まっているか、識別記号（a、bなど）の図版類のそれと対応しているか、図版類と表について本文内で言及されているかもチェックします。図版類の説明文の中で手法が述べられているときは、その部分は手法の項に移します。必要であれば図版類のコピーを作成し、図版類が鮮明かつ美しく配置されているように整え、符号類が全て存在し、かつ情報の重複がないかどうかを確認します。

著者校正

このプロセスが終了したら、校正用の文字原稿を著者に送り、質問への回答と内容の確認を依頼します。連絡窓口となる（または他に指定された）著者には、全ての共著者からの回答をまとめ、合意を得た後に原稿を編集部に戻送していただきます。著者の回答を受けて、編集部は変更点を反映させたファイルをページレイアウト担当に回します。

ページレイアウト

編集長からの指示や著書からの希望などに従って、編集部が組み上げます。ここで、図版類はWebに適したフォーマットで保存され、ページレイアウト担当に送られて本文原稿と合わせてレイアウトされます。

C-3 掲載スケジュール

大まかな掲載スケジュールはアクセプトの段階で計画します。正式には著者校正及び編集ボードメンバーの最終確認を受けて掲載号が決定されます。なお、オープンアクセスもしくは非オープンアクセスかで論文の掲載方法が変わります。

D.掲載・購読費用とその請求

ACSTはハイブリッドオープンアクセスの閲覧方式になっています。下記のように公開する方法によって掲載料や購読料が異なってきます。発刊時に全文の公開を会員非会員問わずWeb上で公開希望の場合（OA論文）は掲載料が必要です。要旨のみを一般公開する場合（非OA論文）はSCCJ会員は無料であり、非会員は掲載料を必要とします。なお、掲載料の支払いはPaypalで円建てで行います。

- ・著者の**first author**、**corresponding author**がSCCJ会員であれば会員が投稿した論文とします。
- ・掲載料などは1報あたりとします。

また、閲覧はSCCJ会員は発刊時にOA論文も非OA論文もパスワードを入力しアクセスすることで閲覧できます。非会員で非OA論文を閲覧希望する場合は有料になります。

| 掲載料 | SCCJ会員 | 非会員 |
|------------------|----------|----------|
| 発刊時全文公開希望（OA論文） | ¥100,000 | ¥200,000 |
| 発行時要旨のみ公開（非OA論文） | 無料 | ¥50,000 |

| 購読料 | SCCJ会員 | 非会員 |
|-------|-------------|-------------|
| OA論文 | 発刊時に全文無料閲覧可 | 発刊時に全文無料閲覧可 |
| 非OA論文 | | 有料 ¥5,000／報 |

若手は、英文ジャーナルへ挑戦する場

中堅は、自分たちの研究を化粧品分野で世界に発信する場

ベテランは、今までの経験を次世代に広める場

それぞれの立ち位置で様々な分野や従来の枠にとらわれない分野での投稿をまずは、日本の皆様から心よりお待ちしております。